

資料 1

総務常任委員会資料

芸術文化の振興について

令和 4 年 7 月 1 9 日

県 民 生 活 部
芸 術 文 化 課

<目 次>

1 芸術文化の創造と普及

- (1) 人材の育成と顕彰 3
- (2) 多彩な芸術活動への支援や鑑賞機会の提供 5
- (3) 協働と連携による芸術文化の推進 8

2 芸術文化施設の運営

- (1) 兵庫陶芸美術館の運営 8
- (2) 県立芸術文化センターの運営 11
- (3) 県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)の運営 14
- (4) 県立美術館王子分館の運営 16
- (5) 兵庫県民会館の運営 17

1 芸術文化の創造と普及

令和3年3月に策定した「第3期芸術文化振興ビジョン」を踏まえ、芸術文化活動に対する支援や、優れた芸術文化の鑑賞・体験機会を提供することにより「芸術文化立県“ひょうご”」の実現に向けて芸術文化の創造と普及を図る。

(1) 人材の育成と顕彰

ア 各種顕彰 (3,019千円)

(7) 兵庫県文化賞等四賞(文化賞、科学賞、スポーツ賞、社会賞)の表彰

県民文化の高揚、科学技術の向上、スポーツの発展及び明るい地域社会づくりに顕著な貢献をされた個人又は団体を表彰する。

(表彰式) 開催日：令和4年11月(予定) 場所：兵庫県公館

(受賞件数) (単位：件)

表彰名	制定年度	～R2	R3	合計
文化賞	S23	441	6	447
科学賞	S32	264	4	268
スポーツ賞	S39	351	3	354
社会賞	S47	144	4	148
合計		1,200	17	1,217

(8) ともしびの賞の表彰(制定年度：S50)

地域において郷土文化の向上に貢献し、その活動と功績が顕著な個人又は団体を表彰する。

(表彰式) 開催日：令和4年11月(予定) 場所：兵庫県公館

(受賞件数) (単位：件)

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
～R2	140	86	79	67	83	73	85	95	92	92	892
R3	3	3	1	2	2	2	2	2	2	2	21
合計	143	89	80	69	85	75	87	97	94	94	913

(9) 芸術奨励賞の表彰(制定年度：H5)

芸術分野における創作活動で優れた業績をあげ、かつ、将来一層の活躍が期待される新進・中堅の芸術家等を表彰する。

(表彰式) 開催日：令和4年11月(予定)

場所：兵庫県公館

(受賞件数) (単位：件)

～R2	R3	合計
145	4	149



【R3年度表彰式の様子】

イ ひょうごアーティストサロンによる芸術活動支援 (8,554千円)

(7) ひょうごアーティストサロンの運営

県内の新進・若手芸術家の要望に応じて、専門の芸術文化コーディネーターがアドバイス等を行うサロンを設置

- ・開設場所 兵庫県民会館 1階
- ・相談体制 コーディネーター2名配置、水・金を除く週5日 10時～17時
- ・相談内容 公募展出品やコンクール参加などステップアップへの支援
広報活動や助成金申請などの助言
異分野との交流の場の提供、イベント等の情報発信 等
- ・相談実績 183件 (R3年度)

(4) 新進・若手アーティスト等の育成

兵庫県民会館でのロビーコンサート、ギャラリーでの美術作品展の実施等、多様な活動発表の場を紹介することで支援を行う。

場 所	事 業 内 容	実施状況(R3年度)	
		回数	鑑賞者数
県 民 会 館	サロン内展覧会	6回	737人
	特別展(1Fギャラリー)	3回	683人
	兵庫県美術作家交流展	1回	695人
	ロビーコンサート	10回	693人
	新進芸術家リサイタルシリーズ	10回	1,151人
そ の 他	県内芸術家ロビーコンサート	11回	636人
	さわやかステージ(県関係行事)	9件	—
	アーティスト動画の作成・配信	7件	—

ウ リモートを活用した中高生への活動支援 (2,880千円)

中高生を対象に、県下の文化団体の芸術家からリモートで専門的なレッスンを受ける機会を提供する。

- ・対 象 者 県内の中学生、高校生
- ・内 容 吹奏楽、合唱のリモートレッスン(1校あたり6時間まで)
- ・実 施 方 法 県域文化団体等への補助
- ・補 助 金 額 実施校数×54千円(謝金単価6千円×6時間+旅費等18千円)
- ・R 3 実 績 24校

エ 伝統文化の担い手育成(伝統文化担い手育成事業)(9,970千円)

(7) 伝統文化ふれあい広場の開催

関係文化団体の協力のもと、様々なジャンルの伝統文化の魅力を展示や実演、体験コーナーなどにより県民に紹介する。

- ・開 催 日 令和5年3月4日～5日(予定)
- ・場 所 兵庫県公館
- ・内 容 能・狂言等の実演
いけばな等の体験コーナー
展示ブースなど



【子どもたちのいけばな体験】

(イ) 子ども伝統文化わくわく体験教室

県下の文化団体が講師を学校に派遣して伝統文化を体験する教室を実施することで、子どもたちが日本の伝統文化に興味を抱く機会を提供する。

- ・対象者 小・中・高校の児童・生徒
- ・内容 いけばな、茶道、書道、琴、日本舞踊、能・狂言の体験教室
(各校2～3回実施)
- ・実施方法 県域文化団体への補助
- ・補助金額 (2回開催の学校数)×12万円+(3回開催の学校数)×16万円(上限)
- ・R3実績 69校

(2) 多彩な芸術活動への支援や鑑賞機会の提供

ア 県内の芸術家への助成 (芸術文化に親しむひょうご推進事業) (8,040千円)

県内を拠点とする芸術家の活動を支援するとともに、県下各地で身近に芸術文化に親しむことのできる環境の充実を図る。

- ・対象者 県内に拠点を有し、一定の芸術文化活動経歴を有する個人・団体
- ・対象事業 音楽、演劇、舞踊等の舞台芸術の公演、美術作品等の展示、メディア芸術の発表、文芸・美術作品出版事業
- ・補助金額 <対象経費50万円以上> 25万円、 <同30～50万円未満> 15万円
<同20～30万円未満> 10万円、 <同15～20万円未満> 7万円
<同10～15万円未満> 5万円、 <同6～10万円未満> 3万円
- ・R3実績 88件

イ ふるさとの芸術文化活動を推進 (ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業) (14,700千円)

芸術文化団体等が実施する事業を支援し活動の活性化を図ることにより、県民の芸術文化の鑑賞・発表の機会を増やし、芸術文化活動のすそ野を広げる。

区分	県域文化団体の活動支援		ふるさと文化の伝承・ 発信サポート事業
	芸術文化事業	アウトリーチ事業	
対象者	県域または県内の広域的な地域を対象に流派を超えて組織された文化団体		地域住民等が参画する芸術文化団体、実行委員会等
対象事業	美術、音楽、演劇等の芸術文化活動	芸術文化の体験活動	地域の文化資源を生かした、地域住民が実施する伝統芸術文化活動
補助金額	補助率1/2 (上限30万円)	補助率1/2 (上限12万円)	<対象経費15万円以上> 15万円 <同10万円以上15万円未満> 10万円
R3実績	29件	3件	14件(継続)
備考			最長3年事業補助、新規採択終了

ウ 県民芸術劇場の開催 (17,896千円)

青少年と一般向けそれぞれの県民に優れた舞台芸術の鑑賞体験機会を提供するとともに、公立文化施設の活性化を図る。

対 象	小学生	高校生	一 般	計
開催時期	通 年			—
場 所	学校等	市民会館等		—
公演種目	音楽、オーケストラ、室内楽、器楽、バレエ、演劇、ミュージカル、オペラ、舞踊、能、狂言、人形浄瑠璃 など			—
負担区分	出演団体の公演に要する経費に対し県 1/2、市町等 1/2 をそれぞれ負担			—
R3実績 (鑑賞者数)	38回 (14,064人)	17回 (10,256人)	13回 (4,237人)	68回 (28,557人)

エ (新)舞台芸術鑑賞機会創出事業 (20,000千円)

コロナ禍の影響により減少した青少年の舞台芸術鑑賞機会を提供するとともに、県内アーティストに活動の機会を提供する。

- ・対 象 者 文化ホール等の設置者、ホールを含む実行委員会
- ・補 助 金 額 対象経費の 1 / 2 (上限500千円)
- ・対 象 事 業 座席の一定数を子ども・若者向けに無料開放するもの
県内在住で兵庫県を主な活動拠点としているプロのアーティストが出演するもの
- ・ R 4 予 定 40 件

オ 市町ホールを活用した芸術活動への支援 (市町ホール活用支援事業) (4,078千円)

県内の市町ホールの活性化、文化施設間の連携強化を図るため、複数の公立文化施設(市町ホール等)が、音楽や演劇等の大型自主公演を共同(2市町)で実施する事業を支援する。

- ・対 象 者 市町、公立文化施設を管理運営する指定管理者
- ・負 担 割 合 県：施設A：施設B = 1 : 1 : 1
- ・補 助 金 額 上限2,000千円
- ・ R 3 実 績 6 件 (12 市町)

カ 県民文化普及事業—ふれあい文化の祭典— (24,061千円)

県民に多彩な芸術文化活動の成果発表と身近な場所で芸術に親しむ機会を提供し、地域文化のすそ野を広げるため、地域文化団体、県、市町等が一体となって県内各地域で展開する。

- ・期 間 令和4年8月～令和5年2月
- ・R3実績 19事業

〔 ひょうご演劇祭、ひょうご日本民謡フェスティバル、
ひょうご邦楽の祭典、ひょうごブラスフェスティバル 等 〕



【ひょうご演劇祭】
県立芸術文化センター（西宮市）



【ひょうご日本民謡フェスティバル】
ピフレホール（神戸市）

キ (新)ひょうごプレミアム芸術デーの開催 (5,400千円)

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放や、特別イベントを実施するひょうごプレミアム芸術デーを創設

- 実施期間 R4.7.12～18(7日間) ※特別イベントは別日程の場合あり
- 内容 県立芸術文化施設の無料開放、特別イベントの実施
- 無料開放施設 県立美術館、横尾忠則現代美術館、県立人と自然の博物館、
県立考古博物館、古代鏡展示館、県立円山川公苑美術館、
兵庫陶芸美術館
- 特別イベント

施設	内 容
尼崎青少年創造劇場	「演劇公演の舞台裏を見てみよう！」 ～舞台制作の流れと舞台技術を体験～(7/12)
横尾忠則現代美術館	「三田村管打団(みたむらかんだだん)? 真夏のプレミアムライブ」 from水道筋商店街to横尾忠則現代美術館(7/16)
県立芸術文化センター	今後決定のうえ、施設HPにて公開予定(11/9)

(3) 協働と連携による芸術文化の推進

ア 県内各地で開催される芸術祭の連携

(アートde元気ネットワークin兵庫・神戸推進事業) (2,200千円)

地域の特色を活かした芸術祭・アートプロジェクトの連携を推進し、県内外への情報発信力を高め、交流人口の増加を図り、地域活性化につなげる。

- ・内 容 推進会議の開催(年間3回)、ガイドブック、ポスターの制作・配布、HP・SNSによる情報発信、大学との連携

地域	参画芸術祭(主催団体)
神戸	六甲ミーツ・アート(六甲山観光(株)) 下町芸術祭(新長田アートコモンズ実行委員会)
西播磨	たつのアートシーン(ひとまちアートプロジェクト)
但馬	豊岡アートシーズン(豊岡市) 木彫フォークアートおおや(同 実行委員会) あさご芸術の森アートフェスティバル(あさご芸術の森美術館)
丹波	丹波篠山・まちなみアートフェスティバル(同 実行委員会)

イ ひょうごつながろうアート応援プロジェクト(1,000千円)

ふるさとひょうご寄附金を活用し、県内の新進・若手アーティスト等による青少年へのアウトリーチ活動、動画での芸術文化活動の実施を支援し、世代を超えて未来につながる芸術文化の振興に寄与する。

ウ 関西広域連合との連携

11月に関西文化月間として実施する「関西文化の日」(関西一円の文化施設入館料を無料)への参加や「関西文化.com」(関西の芸術文化情報サイト)と連動した情報発信

エ 芸術文化施設における地域・民間との協働・連携

兵庫陶芸美術館や県立芸術文化センター、尼崎青少年創造劇場などの各施設において、地域の実情や要請に応じて、学校、団体や民間との協働・連携事業を実施。

※詳細は各施設運営の項目に記載

2 芸術文化施設の運営

(1) 兵庫陶芸美術館の運営

丹波立杭の里で、陶芸文化の発信基地・交流拠点である「兵庫陶芸美術館」を運営し、丹波焼をはじめとする陶芸文化の振興・発展と、陶磁器を通じた人々の交流や地域活性化を促進する。

- 所在地 丹波篠山市今田町上立杭4
- 主要施設 展示棟(展示室、収蔵庫等)
研修棟(セミナー室、談話室等)
エントランス棟(総合案内、レストラン、工房等)
管理棟(レファレンスルーム、会議室等)、茶室
- 開館年月 平成17年10月
- 入館者数 113,799人(R3年度実績)(R2年度実績 51,058人)
(R3年度 特別展「ザ・フィンランドデザイン」入場者21,815人 ほか特別展3回開催)



【兵庫陶芸美術館】

ア 展覧会の開催（85,000千円）

古陶磁器や内外の現代陶芸作品の鑑賞機会を提供し、作品鑑賞を通して県民の豊かな感性を育むとともに、兵庫県のやきものの伝統と文化を次世代に伝え、陶芸文化の振興を図る。

	展 覧 会 名	期 間
特 別 展	オールドノリタケ×若林コレクション ーアールヌーヴォーからアールデコに咲いたデザイナーー	R4. 3. 19～R4. 5. 29
	受贈記念 平井昭夫コレクション×三浦徹コレクション やきものを愉しむ-二人のまなざし-展	R4. 6. 11～8. 28
	北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック アール・デコのガラス モダン・エレガンスの美展	R4. 9. 10～11. 27
	教えて！兵庫陶芸美術館 -収集と展示のQ&A-	R4. 12. 10～R5. 2. 26
	丹波の茶道具	R4. 3. 18～R5. 5. 28
テ ィ 展	矢部俊一展	R4. 12. 10～R5. 2. 26
	丹波焼の世界 season6	R4. 3. 12～R5. 2. 26

イ 陶芸文化の普及（4,825千円）

(7) 陶芸ファンの拡大に向けた取組

陶芸に関心のある県民対象のワークショップや丹波焼のすばらしさを窯元等から直接学ぶ講座等を実施し、陶芸文化の普及と陶芸を通じた交流促進を図る。

項 目	内 容	R3実績
陶芸文化講座	古陶磁器や現代陶芸の知識等、陶芸文化を一層深く理解する機会を提供（特別展関連ワークショップ等）	105人
丹波焼最古の登窯関連陶芸ワークショップ	専門的な陶芸用具による作陶、登窯を活用した焼成体験等を通じて、陶芸の理解を深める機会を提供	17人
子育て世代陶芸ワークショップ	子育て世代を対象に、作陶や絵付け体験等を通じて、陶芸の理解を深める機会を提供	91人
県民陶芸大学 (初心者・レベルアップの2コース)	丹波焼の制作過程等を体験することによって、陶芸を知り、もって陶芸ファンの裾野を広げる機会を提供	23人



【丹波焼最古の登窯関連陶芸ワークショップ】



【県民陶芸大学】

(イ) 専門人材の育成

① 技術専門講座

若手陶芸家等を対象に、通常では習得機会の少ない特殊な陶芸技法に関する研修等を実施し、新たな技術・知識の学習機会を提供

(R3年度：14人、講師：丹波立杭焼伝統工芸士 大上裕 氏)

② 著名作家招聘事業

国内外の著名陶芸作家を招聘し、作品展示・アーティストトーク等を通して、県内陶芸作家との交流を深める機会を提供

(R3年度：トーク45人、ワークショップ 11人 講師：造形作家 八代 清水六兵衛 氏)

ウ 学校・地域との連携の推進 (3,608千円)

(7) 学校との連携

学校等と連携して、陶芸美術館を活用した展覧会見学や創作活動等の学習プログラムにより陶芸文化のすそ野の拡大を図る。

- ・ R3年度 30校 2,752人
- ・ 高齢者大学への講師派遣
- ・ 兵庫教育大学と連携し、県内小中学校教員を対象とした研修講座、3年生を対象とした研修講座等を実施

(1) 地域との連携

① イベント開催

やきものの里プロデュース倶楽部（地域の活動団体12団体で構成）や丹波伝統工芸公園「陶の郷」、こんだ薬師温泉「ぬくもりの郷」等と連携し、地域全体の活性化を図る。

【主な取組】

- ・ 「やきものの里春ものがたり」関連イベント(講演会、ワコイコンサート、体験コーナー 等)
- ・ 「陶器まつり」関連イベント (同上)
- ・ いけばなアート展 等

② 最古の登窯復興と丹波焼の里活性化の推進

兵庫陶芸美術館、丹波立杭陶磁器協同組合、自治会など地域の関係機関等が連携して「丹波焼の里活性化推進委員会」を設立。登窯の修復を契機として丹波焼の里の魅力発信や各種イベント等を開催し、誘客の拡大を図る。

【主な取組】

- ・ ふるさとひょうご寄附金を活用した最古の登窯焼成事業への支援
- ・ 日本遺産の認定を受けた丹波焼の魅力づくりと情報発信等

【焼成について】

- ・ R2年度は新型コロナウイルス感染症により焼成時期変更
- ・ R3年度は補修等により焼成なし
- ・ R4年度は5/2～4 焼成



【伝統技法で修復された登窯】



【登窯焼成の様子 R4.5.2～4】

③ 日本遺産「きっと恋する六古窯」活用事業

丹波篠山市を含む日本六古窯の市町が平成29年度に日本遺産に認定されたことを契機に「六古窯日本遺産活用協議会」を設立し、プロモーション映像やポータルサイトの制作等広く情報を発信している。

【主な取組】

- ・「六古窯を辿る」展（瀬戸市開催）に、代表的な所蔵品10件を出品
- ・各産地の歴史や特徴を紹介するガイドブックの製作に参画
- ・神戸市内での観光PR事業（日本遺産の魅力紹介）に参画

(2) 県立芸術文化センターの運営

阪神・淡路大震災からの心の復興・文化の復興のシンボルとして、自ら創造し、県民とともに創造するパブリックシアターをめざす「芸術文化センター」を運営し、国内外にわたる芸術文化の創造と交流を推進する。

- 所在地 西宮市高松町2-22（阪急西宮北口駅南）
- 主要施設 KOBELCO 大ホール(2,001席)
阪急 中ホール(800席)
神戸女学院 小ホール(417席)
リハーサル室、練習室、楽団スペース
レストラン、駐車場 など
- 開館年月 平成17年10月
- 指定管理者 (公財) 兵庫県芸術文化協会
- 芸術監督 佐渡裕
- 利用者数 476,771人(R3年度実績) (R2年度実績 222,962人)
- 利用状況



【県立芸術文化センター】



【プロデュースオペラ 喜歌劇「ラ・ウイトゥ」】

©飯島隆

区分	KOBELCO 大ホール	阪急 中ホール	神戸女学院 小ホール
令和3年度利用率	94.5%	90.7%	88.0%

ア 芸術文化センター事業の実施（自主企画による創造・公演事業）（430,000千円）

(ア) プロデュース事業（公演）

① 佐渡芸術監督プロデュース公演

芸術文化の普及振興を図るため、センター開館15周年を記念し、国内外に発信力のある大型公演を実施（R2年度からの延期分）

プロデュースオペラ 歌劇「ラ・ボエーム」	R4. 7. 15～24 （8公演）
ジルヴェスター・コンサート	R4. 12. 31 （1公演）

② センター企画・プロデュースによる公演

新作文楽ゴスペル・イン・文楽 ～イエス・キリスト～	R4. 7. 6 （1公演）
染殿寄席（そめどのよせ）	R4. 9. 10 （1公演）
オペラ「森は生きている」	R5. 3. 25～26 （2公演）

(イ) 招へい・提携・共催事業

① 内外オーケストラ・オペラ・バレエ公演等 (KOBELCO 大ホール)

東京バレエ団「くるみ割り人形」	R4. 12. 23 (1公演)
ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ	R5. 1. 4 (1公演)
ウーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ	R5. 1. 7 (1公演)

② 内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等 (阪急 中ホール)

演劇「ロビー・ヒーロー」(新国立劇場との連携)	R4. 6. 5 (1公演)
ミュージカル「next to normal」	R4. 4. 21~24 (7公演)
万作萬斎狂言	R4. 11. 10~11 (2公演)

③ 内外室内楽公演等 (神戸女学院 小ホール等)

世界音楽図鑑「ドリーマーズ・サーカス」	R4. 6. 17(1公演)
HYOGOクリスマス・ジャズ・フェスティバル	R4. 12. 1~21 (5公演)
古楽の愉しみ「川口成彦 フォルテピアノ リサイタル」	R5. 3. 11(1公演)

(ウ) 普及事業

県民誰もが楽しめる親しみやすい公演を実施

項 目	内 容
プロムナード・コンサート (8事業8公演)	人気・実力を備えた国内外演奏家を招き、低料金で親しみやすいプログラムの公演により、すそ野の拡大をめざす。
ワンコイン・コンサート (10事業10公演)	県内外音楽コンクール受賞者等、兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家によるコンサートを開催(入場料500円)。
ドリーム・コンチェルト (1事業1公演)	ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団の共演により、若手音楽家の飛躍につながる機会を提供
県民の創作活動の推進 (12事業12公演)	舞台芸術団体フェスティバル (8月20日~9月25日)

(イ) 地域連携・にぎわいづくり事業 (西北活性化協議会への参画)

センター開館を機に設置された「西北活性化協議会」を中心に、市内大学や周辺自治会等の参加も得て、地元が一体となった様なイベントを実施、地域のにぎわいを創出する。

- ・ 構成団体 にしきた商店街、阪急西宮ガーデンズ、芸術文化センター
- ・ 事業 ①プロデュースオペラ「ラ・ボエーム」前夜祭
②「LALALA にしきたミュージシャン・コンテスト 2022(第15回)」
③クリスマス・イベント

イ 芸術文化センター管弦楽団による活動 (326,745千円)

全国世界からの公募により、優れた若手プロ演奏家を中心に構成される専属管弦楽団を運営し、兵庫から国内外にアピールできる魅力ある演奏活動を展開する。

また、国内外より著名な演奏家を指導者として招き、楽団員の演奏力および楽団としてのアンサンブル力の強化を図ることで、アカデミー機能のより一層の強化、充実を目指す。

【楽団の構成】

- ・芸術監督 佐渡裕
- ・レジデント・コンダクター（専任指揮者） 岩村力
- ・コンサートマスター 田野倉雅秋、豊嶋泰嗣
- ・コアメンバー（常勤奏者）（35歳以下、契約期間3年）48人



【第126回定期演奏会】 ©飯島隆

(7) 多彩な公演の実施

① 定期演奏会 (KOBELCO大ホール)

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、質の高い公演を実施。令和4年度は27公演(1回につき3公演)開催予定

- ・第132回定期演奏会 井上道義指揮 (R4. 4. 15~17) ほかに8回

② 特別演奏会 (KOBELCO大ホール)

名曲コンサート、ファミリーコンサート等親しみやすい公演を実施

- ・PAC春休みワクワクオーケストラ・コンサート 岩村力指揮 (R4. 4. 2)
- ・リサイタルシリーズ フランチェスカ・ブルーノ、トミー・リウ出演 (R4. 6. 16)

③ 室内楽演奏会 (神戸女学院小ホール)

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。令和4年度は全5回開催予定

- ・第70回 金管楽器セクション (R4. 4. 23) ほかに4公演

(4) 青少年に向けた鑑賞機会の提供

① 青少年芸術体験事業「ワクワクオーケストラ教室」の実施〔教育委員会事業〕

県内全公立中学1年生(公立以外は希望校)を対象に、本格的な管弦楽団の演奏に親しむ機会を提供する。

令和3年度は、コロナ禍でオンラインを活用した「ワクワクOnlineオーケストラ教室」を制作・配信し、より一層学校で活用してもらえるようにDVDを県内小・中学校に配布した。

- ・開催日 令和4年5月25日～令和5年1月26日
- ・場 所 KOBELCO大ホール他
- ・公演数 40公演
- ・参加者数 22,897人 (R3年度) ※令和3年度は新型コロナウイルスの影響で実施35公演



【ワクワクオーケストラ教室】 ©飯島隆

② アウトリーチ活動

学校等に出向いて演奏を行い、音楽の魅力・感動を伝えるとともに、音楽普及と楽団のPRを図る。平成29年度から小学校を対象にしたアウトリーチ活動を展開している。

令和3年度実績 小学校・特別支援学校13回

③ スーパーキッズ・オーケストラの活動

全国から選ばれた小学生から高校生までの演奏家により、県内各地でのイベント演奏や公演等を実施している。

(3) 県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)の運営

青少年が演劇、音楽、舞踊などの練習や発表に気軽に利用できる場として、また、優れた舞台芸術の鑑賞や学習を行う場として、青少年の自由な創造活動を促進するとともに、県民文化の振興を図る。

- 所在地 尼崎市南塚口町3-17-8
- 主要施設 大ホール(396席)
中ホール(200席)
小ホール(100席)
練習室3室、書庫・閲覧室、別館稽古場
- 開館年月 昭和53年8月
- 指定管理者 (公財)兵庫県芸術文化協会
- 利用者数 58,300人(R3年度実績) (R2年度実績 29,120人)
- 利用状況



【県立尼崎青少年創造劇場】

区分	大ホール	中ホール	小ホール	練習室
令和3年度利用率	86.8%	84.7%	85.1%	82.4%

ア 演劇等鑑賞劇場の提供(4,725千円)

地域文化の振興を図るため、演劇、落語などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催する。

【鑑賞劇場】

ピッコロ寄席 「桂ごこば一門会」「南光 雀三郎 二人会」「桂吉朝一門会」 「桂米團治独演会」「子どもと楽しむ落語会」	R4.5~R5.2
生演奏で紙芝居「グッドガール シンシア」	R4.9.3
シアタースタート 民族芸能アンサンブル若駒 「はるなつあきふゆあそぼあそぼ」	R4.9.30
文学座公演「欲望という名の電車」	R3.11.12~13

【文化セミナー】

渋谷天外さんに聞く	R4.6.9
-----------	--------

イ 県立ピッコロ劇団による公演(193,680千円)

県立ピッコロ劇団の活動を通して、優れた舞台芸術の創造、演劇の鑑賞機会の提供を進め、地域文化の振興を図る。

- ・劇団の構成 劇団代表 岩松了、俳優 35人

(7) 本公演 (於：ピッコロシアター)

第73回公演「三人姉妹」	R4.7.16~27(12公演)
第74回公演「から騒ぎ」	R4.10.6~10(6公演)

(イ) ファミリー劇場 (於：ピッコロシアター)

ファミリー劇場「飛んで 孫悟空」	R4.8.6、7(4公演)
------------------	---------------

(ウ) 県立芸術文化センター公演

ファミリー劇場「飛んで 孫悟空」	R4. 12. 24、25 (3公演)
第75回公演「三文オペラ」	R5. 2. 17～19 (5公演)

(エ) ピッコロわくわくステージ (中学生対象) (於：ピッコロシアター)

「飛んで 孫悟空」	R4. 5、6月、12月 (21公演)
-----------	---------------------

(オ) ピッコロおでかけステージ (小学校公演等)

「タラレバ幽霊とタカラの山」	R4. 10～11月県内小学校等での上演
----------------	----------------------



【本公演「いけないものだけ手に入る(R3)」
(令和3年度文化庁芸術祭大賞受賞)】



【ファミリー劇場「グリム兄弟!～みんなのメルヘン きかせてダンケ～」(R3)】

(カ) 演劇指導等

演劇学校、高校、大学、専門学校等の授業や企業、ワークショップに劇団員を指導者として派遣する。

(令和3年度実績：主な派遣先)

ピッコロ演劇学校、宝塚北高校、伊丹北高校、クラーク記念国際高校、甲南女子大学、関西学院大学、大阪芸術大学、尼崎市立あまよう特別支援学校
劇団高円養成塾、県自治研修所、豊岡市役所

県内小学校等 (あつまれ!ピッコロひろば (小学生対象演劇ワークショップ))

小野市国際交流協会 (在留外国人向けワークショップ等)

ウ 舞台芸術の人材育成 (ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校) (5,169千円)

演劇創造について幅広く学ぶ「ピッコロ演劇学校」(毎週火・木曜日の夜に実施)、音響・照明・美術などの基礎技術を学ぶ「ピッコロ舞台技術学校」(毎週水・金曜日の夜に実施)を運営する。

【令和4年度生徒数】

演劇学校	本科	18人
	研究科	25人
舞台技術学校		24人
合計		67人



【ピッコロ舞台技術学校の様子】

(4) 県立美術館王子分館の運営

- 所在地 神戸市灘区原田通3-8-30
- 指定管理者 (公財)兵庫県芸術文化協会
- 主要施設 <原田の森ギャラリー>
本館(1・2階展示室、収蔵庫)、東館(1・2階展示室、収蔵庫)
別館(会議室等、貸倉庫)、駐車場
- <横尾忠則現代美術館>
展示室、オープンスタジオ、アーカイブルーム、収蔵庫、カフェ(別棟)
- 開館年月 原田の森ギャラリー 平成14年10月
横尾忠則現代美術館 平成24年11月



【原田の森ギャラリー】



【横尾忠則現代美術館】

ア 原田の森ギャラリーの運営 (41,073 千円)

県域芸術団体等に展示や創作活動の発表の場を提供し、美術のすそ野を拡大し、本県芸術文化の振興を図る。

また、令和2年10月に障害者の芸術作品を常設展示する「兵庫県障害者アートギャラリー」を開設した。

○利用者数 100,867人 (R3年度実績) (R2年度実績 53,703人)

○利用状況

区 分	展示室				会議室
	本館1階	本館2階	東館1階	東館2階	別館
令和3年度利用率	86.7%	85.3%	87.4%	62.8%	60.1%

イ 横尾忠則現代美術館の運営 (117,658 千円)

令和4年11月に開館10周年を迎える。横尾氏から寄贈・寄託された作品等を安全に保管しながら、展覧会の実施や様々な事業を展開し運営する。

・入館者数：44,385人 (R3年度実績) (R2年度実績 29,766人)

(R3年度 企画展「横尾忠則の恐怖の館」入場者 20,545人 (ほか企画展1回開催))



【「横尾忠則の恐怖の館」の様子】

(7) 企画展の開催

絵画、版画、ポスターなど世界最大の横尾作品のコレクションを軸に、国際的に高く評価されている横尾作品や、横尾作品に関連するテーマ展など、多彩な展覧会を展開する。

展 覧 会 名	期 間
開館 10 周年記念 Forward to the Past～横尾忠則展 寒山拾得への道	R4. 4. 9～7. 18
開館 10 周年記念 横尾さんのパレット	R4. 8. 6～12. 25
開館 10 周年記念 横尾忠則展 満満腹腹満腹	R5. 1. 28～5. 7

(イ) 企画展関連事業

新たなファン層の拡大をめざし、オープンスタジオを活用して、キュレーターズトークや座談会、横尾氏と親交のあるアーティストによるライブ、コンサート等を実施する。

(ウ) 情報の提供・広報

美術館の魅力を様々な媒体により国内外に伝える。

【主な取組】

- ・ 県立美術館、BBプラザ美術館と共同で英語・中国語パンフレットを配布
- ・ 学芸員が美術館の仕事の概要を語る動画を日本語、英語、中国語、韓国語の字幕をつけて配信

(5) 兵庫県民会館の運営

会議室、集会室、アートギャラリー、ホール等を備えた県民の文化活動の拠点である兵庫県民会館を運営し、県民の福祉と文化の向上を図る。

- 所在地 神戸市中央区下山手通4-16-3
- 主要施設 会議室21室、パルテホール1室(収容150人)、
県民ホール1室(収容360人)、和室3室、
アートギャラリー4室(50～346㎡)、駐車場
- 開館年度 昭和43年
- 指定管理者 (公財)兵庫県芸術文化協会
- 利用者数 297,950人(R3年度)(R2年度実績 235,984人)
- 利用状況

区 分	会議室	パルテホール	県民ホール	和室	ギャラリー
令和3年度利用率	52.7%	46.2%	55.9%	49.9%	28.0%

男女共同参画の推進と 青少年の健全育成の推進について

令和 4 年 7 月 1 9 日

県 民 生 活 部
男 女 青 少 年 課

<目 次>

1	男女共同参画社会づくり施策の推進	
(1)	男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進	3
(2)	県立男女共同参画センターの運営	4
(3)	女性活躍の推進	7
2	家庭応援施策の推進	
(1)	家族のきずなを深める機運の醸成	9
(2)	男性の家事・育児への参画促進	9
(3)	連携・協働による子育て支援	10
(4)	出会い支援事業	12
3	青少年の健全育成の推進	
(1)	青少年育成のための基盤づくり	13
(2)	青少年の体験活動の推進	15
(3)	課題を抱える青少年の支援	17
4	青少年を守り育てる活動の推進	
(1)	青少年愛護活動の展開	19
(2)	青少年のインターネット利用対策の推進	20

1 男女共同参画社会づくり施策の推進

男女がともに、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる社会の実現を目指し、「ひょうご男女いきいきプラン 2025」(R3～R7)に基づき、施策の効果的な推進を図る。

(1) 男女共同参画社会の実現に向けた取組の推進 (949 千円)

ア 男女共同参画社会づくり協定の締結

県と事業所が協定を締結し、男女共同参画社会づくりに向けた事業所の取組を協働で促進する。

< 締結事業所 > 1,432 社・2 団体 (R4.5 末)

< 取組例 >

- ・家庭・地域生活と職業生活との両立に向けた環境整備
- ・セクシャル・ハラスメントの防止
- ・事業活動の方針決定や企画に男女が共に参画する機会の確保



【男女共同参画づくり協定書】

< 地域別協定締結数 (R4.5 末) >

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
220	130	88	129	132	289	135	133	84	78	16	1,434

「県外」は、県内に事業所を有する県外の本社との締結数

イ 男女共同参画推進員の設置

地域や職場における男女共同参画の取組を促進するため、男女共同参画推進員を委嘱する。県立男女共同参画センターと各県民局・県民センターが連携して推進員の活動を支援するため、様々な情報提供や研修を行う。

< 委嘱人数 > 第 11 期(R4～5) 1,258 人 (地域 52 人、企業 1,157 人、労働組合 49 人)

< 推進員の活動内容 > 地域や職場での情報提供、講座・ワークショップの開催等

ウ 市町における取組の推進

県・市町合同会議や男女共同参画センター連絡会議等の実施により、市町と連携・協働し、男女共同参画社会づくりを推進する。

< 市町の取組状況 (R4.4.1 現在) >

男女共同参画条例	男女共同参画計画	男女共同参画センター	女性活躍推進法に基づく事業主行動計画
11 市町 (26.8%)	40 市町 (97.6%)	22 市町 (53.7%)	41 市町 (100%)

(2) 県立男女共同参画センターの運営（109,465千円）


男女共同参画社会の形成を図るため、女性の就業・学習支援、女性の悩み相談などを総合的に推進する施設として、県立男女共同参画センターを運営する。

県立男女共同参画センター（愛称：イーブン）

[設置場所] 神戸市中央区東川崎町 神戸クリスタルタワー7階

[施設内容] 女性就業相談室（総合案内、情報検索コーナー、ハローワーク）
 情報相談コーナー、情報図書室、
 セミナー室・講習室、面談室、
 交流スペース、保育室

[利用者数] R3年度：27,234人



ア 相談

(ア) 女性問題カウンセラーによる相談

家族・職場の人間関係や、自分に自信がない、将来が不安など、女性の様々な悩みについて相談を受け、相談者自らが今後の生き方を選択できるよう支援する。

<相談実施日> 電話：月～土 9:30～12:00、13:00～16:30
 面接：月～金 9:50～18:40、土 9:20～16:50

<相談内訳（R3年度）>

項目	対人関係	健康関係	くらし・ 生き方	労働関係	法律関係	学習・ 情報他	計
件数	1,720	612	434	279	45	669	3,759
割合	45.8%	16.3%	11.5%	7.4%	1.2%	17.8%	100.0%

(イ) 特別専門相談

女性弁護士による法律相談や、医師・助産師による不妊・不育専門相談、男性の臨床心理士による男性の悩み相談を行う。

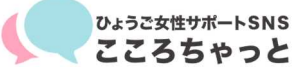
<相談内訳（R3年度）>

区分	法律相談 （面接：月1回）	不妊・不育専門相談 〔電話：月1回 面接：月1～2回〕	男性のための相談 （電話：月2回）	計
件数	16	95	59	170

(ウ) コロナ禍で孤独・孤立を抱える女性への支援

コロナ禍で不安や困難を抱える女性を支援するため、NPOの知見を活用し、SNS相談やオンライン居場所の開設、生理用品の無料配付を令和3年11月より実施している。

<内 容>

<p>SNS相談</p> 	<p>オンラインのチャット機能により、女性相談員が悩みを抱える女性に寄り添いながら、気持ちの整理の支援や情報提供を行う。(火~土曜、10~13時)</p>
<p>オンライン居場所</p>	<p>オンライン(ZOOM)で、女性同士が様々な悩みを話することができる居場所を開設する。</p>
<p>~自信UPプロジェクト~</p>	<p>心のモヤモヤを打ち明け合い、一歩踏み出す気持ちを応援(毎月第2、第4水曜、10~12時)</p>
<p>~子育てあるあるCafe~</p>	<p>幼児の子育て中の“ちょっとしんどい”や“あるある”を共有(毎月2回、10~12時・13~15時のいずれか)</p>
<p>~Family保健室~</p>	<p>小学生から高校生の子どもの体や心の心配事を共有(毎月2回、10~12時・13~15時のいずれか)</p>
<p>生理用品の無料配付</p>	<p>県立男女共同参画センターやマザーズハローワーク、大学等で、経済的に困窮する希望者に生理用品を配付する</p>

<取組内容(R3.11~R4.3)>

- ・相談件数：236件
- ・居場所参加者数：75人
- ・生理用品配付数：約5,300パック
(公共施設や大学等63箇所配付)



【女性のためのSNS相談~こころチャット】

イ 人材育成・情報提供

(ア) 男女共同参画アドバイザーの養成

地域の課題解決に向けて実践活動を行うリーダー的役割を担う人材を養成するため、男女共同参画について体系的に学ぶ講座を開設する。

<回数> 25回連続講座(R4.6~12)

公開講座はオンラインで配信

<内容> 基礎学習(講義)、ワークショップ(実習)

<受講者数> 18人

<R3実績> 修了者18人



【男女共同参画アドバイザー養成講座】

(イ) 情報アドバイザーによる支援

情報アドバイザーが男女共同参画に関する学習や調査、活動に関する相談に応じるほか、図書の出借等を行う。

<情報アドバイザーによる情報提供(R3年度)> 6,540件

ウ 女性の就労支援

出産や育児等による長期離職、コロナ禍での就労不安などに悩む女性を対象に、ハローワークと連携し、起業や再就業に向けた相談から、講座等によるスキルの向上、職業紹介までワンストップで支援する。

< 女性就業相談室利用者数 (R3 年度) > 4,690 人 R4.4 末 : 421 人

(ア) チャレンジ相談

社会保険労務士等が再就業や起業、在宅ワーク、地域活動など今後の働き方やライフキャリアを考えたい女性の相談に応じる。

区分	R3 実績		R4 予定	
	回数	参加者数	回数	参加者数
チャレンジ相談 (電話・オンライン・面接 : 月4回)	51 回	114 人	51 回	153 人
出前チャレンジ相談 (市町男女共同参画センター等)	64 回	164 人	72 回	216 人

(イ) 講座・セミナーの開催

女性の働き方に関するセミナー

自分にあった働き方や自分らしく働き続ける力を養うセミナー等を開催

区分	R3 実績		R4 予定	
	回数	参加者数	回数	参加者数
女性のための働き方セミナー	20 回	203 人	20 回	160 人
出張！女性のための働き方セミナー	29 回	203 人	31 回	248 人
多様な働き方応援シンポジウム	1 回	70 人	1 回	100 人

デジタルスキル向上セミナー

パソコンの実践的活用方法を学ぶ講座を開催(ワード、エクセル、パワーポイント)

区分	R3 実績		R4 予定	
	回数	参加者数	回数	参加者数
パソコン講座(初心者～経験者向け)	13 回	144 人	13 回	192 人

(ウ) 職業相談、職業紹介

ハローワークと連携し、求人検索用端末の設置や、直接就業へ結びつける職業相談、職業紹介を行う。

< 男女共同参画センター「女性就業相談室」内 ハローワーク利用状況 >

区分	R3 実績	R4.4 末現在
相談窓口利用者数	4,062 人	359 人
紹介状発行者数 (企業求人への応募者数)	749 人	85 人
就 職 者 数	235 人	37 人

(3) 女性活躍の推進 (23,191 千円)

ア 女性活躍推進センターによる取組

県立男女共同参画センター内に設置した女性活躍推進センター(H28.6~)を中心に、女性活躍推進の気運醸成をはじめ、企業の自主的取組の促進やキャリアアップを目指す女性の支援、次世代を担う女子学生への啓発等を行う。

(ア) 企業の取組支援

県内企業における女性活躍を推進するため、女性活躍推進専門員が企業を訪問し、様々な相談に応じるとともに、研修の企画提案や講師派遣を実施する。

また、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定や、計画に基づく企業の取組を支援する。

<訪問企業(R3年度)> 116社 <講師派遣(R3年度)> 24人

(イ) 女性活躍を応援するセミナー等の開催

中小企業等の女性社員のキャリア形成や、誰もが自分らしく働くためのセミナー等を開催する。

(新) 中小企業等の階層別女性社員研修

女性社員のスキルアップやネットワークづくりを支援するための研修を開催

<回数> 中堅・若手社員向け：4回連続 管理職向け：4回連続

<参加者数> 各20名程度

(新) 女性を応援する経営者・管理職等向けセミナー

経営者や管理職を対象に、誰もが自分らしく働くことができる職場づくりに向けたセミナーを開催

<実施予定日> 令和4年10月13日

<参加者数> 50人程度

(新) 理工系分野で活躍したい女子学生向けセミナー

女子学生を対象に、女性が活躍できる企業の事例等を紹介し、理工系分野の魅力を伝えるセミナーを開催

<実施予定> 令和5年1月予定

育休復帰等長期離職者応援セミナー

長期間職場を離れた女性の不安等を解消し、スムーズに職場復帰するためのセミナーを開催

<回数> 4回程度

<参加者数> 各10名程度



【長期離職者応援セミナー】

イ (新) 女性活躍推進認定制度の創設

女性の管理職比率などの指標から、各企業の女性活躍推進状況を見える化し、一定の基準に達した企業を認定・公表することで、県内企業の女性活躍推進に向けた取組を後押しする。

< 認定の流れ >

企業が女性活躍推進指標により、進捗状況と今後取り組むべきことを確認
一定の基準を満たした企業の認定申請を公募し、審査のうえ、認定
認定企業について、県ホームページや広報誌等で周知するほか、認定マークを
使用することで女性活躍推進をアピールできるようにする。

< 指 標 項 目 > ・女性活躍に向けた方針の策定

- ・女性のキャリア形成支援に向けた研修等の実施
- ・女性の管理職比率
- ・女性の採用比率
- ・多様な働き方の導入 等

ウ 女性活躍推進グループの活動支援

企業における女性活躍に向けた気運醸成、取組を促すため、女性社員を中心とした自主的な活動を行うグループの活動を支援する。

対象事業	女性活躍の現状・課題分析、勉強会の開催、先進事例の調査研究等
補助額	上限 100 千円 / グループ
補助件数 (R3 年度)	3 件
取組事例 (R3 年度)	・異業種で働く女性同士の意見交換会 ・女性の働き方やライフプランについての勉強会

エ 女子学生のキャリアデザイン形成支援

兵庫県経営者協会や大学と連携し、企業の女性社員とのワークショップを通じて、女子学生が自分の望む将来のライフスタイルやキャリアデザインについて考える機会を提供する。

< 回 数 > 3 回

< 参加者数 > 各 50 人程度

< R 3 実績 > 2 回

(神戸学院大学、武庫川女子大学)



【女子学生キャリアデザイン形成セミナー】

2 家庭応援施策の推進

家族や家庭について考えるきっかけづくりや男性の家事・育児参加の促進、地域や企業との連携による子育て支援のための取組を進める。また、ひょうご出会いサポートセンターの運営を通じて、結婚を希望する男女の出会いを支援する。

(1) 家族のきずなを深める機運の醸成（1,029千円）

ア “家族の日”運動の普及推進

家族のきずなを深める契機として、各家庭で話し合い、最もふさわしい日を「家族の日」と定める「家族の日運動」を推進する。

(ア) 写真コンクールの開催

「家族の日」を考える家族写真コンクールを実施する。

<募集期間> 令和4年7月1日～9月15日

<受賞点数> 最優秀賞1点、優秀賞4点ほか計20点

<巡回展示> 神戸県民センター、淡路文化会館ほか

<R3実績> 応募点数1,011点

〔 ホームページ応募サイト：607点
Instagramへの投稿：404点 〕



【「家族の日」写真コンクールチラシ】

(イ) ラジオ放送等を活用した啓発

ラジオCMやラジオ関西まつりへのブース出展により普及啓発を行う。

<CM回数> 22回予定

(2) 男性の家事・育児への参画促進（4,673千円）

ア 共家事・ゆる家事大作戦の展開

家事負担を軽減する工夫やヒントの紹介、家事分担について楽しく話し合うツールの提供等を通じて、家族が協力して家事を行う意識を醸成し、男性の家事・育児への参加を促進する。

(ア) 共家事（ともかじ）推進（R4～）

家事分担を家族で楽しく話し合う「家事シェアシート」を提供し、家事の工夫やシート活用例を県ホームページ、SNS等で発信する。

(イ) ゆる家事大作戦（R3～）

子育て中の共働き世帯等に向け、男性が取り組みやすい家事負担を軽減するための工夫やアイデアを県ホームページ、SNS等で発信する。

<記事例>

- ・炒めるだけのお料理セットでパパが本格中華に挑戦！
- ・「わたしのゆる家事大作戦」大公開



【ゆる家事大作戦ホームページ】

イ 子育てに優しい職場づくりフォーラムの開催

企業経営者や労務担当者等を対象に、男性の育休取得促進等の先行事例や法制度等の概要を学ぶフォーラムを開催する。

<開催日> 令和4年10月 <参加者数> 300人程度

<R3実績> オンライン開催(当日:100人参加、後日:182回視聴)

ウ 男性の子育て応援カフェ(企業向け出前講座)の開催

男性の家事・育児への参画やワーク・ライフ・バランスの推進等に関する職場意識の醸成を図るためのセミナーを男性社員や管理職向けに開催する。

<回数等> 県内企業・団体 10社程度

<テーマ例> 子育てを楽しむ方法、子育て社員の職場環境改善策等

<R3実績> 6社、105人参加

(3) 連携・協働による子育て支援(25,405千円)

安心して子どもを産み育てられる地域づくりを進めるため、地域団体、企業、市町、職域団体等と協働して、子育て支援を推進する。

ア 子育て応援協定の締結

県と事業所が協定を締結し、子育てと仕事の両立や子育て家庭を応援する取組を促進する。

<締結事業所> 1,457社、38団体(R4.5末)

<取組例> ・子育て支援推進員の設置

・子育てと仕事が両立できる職場環境の整備

<地域別協定締結数(R4.5末)>

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
267	126	87	119	125	283	136	141	77	81	15	1,457

「県外」は、県内に事業所を有する県外の本社との締結数

イ 地域団体と連携して行う子育て支援

団体がその特色を生かして行う子育て応援のための活動を支援する。

<内容>

連携団体	事業内容	R3実績
兵庫県連合婦人会	三世代が交流する体験教室等	67回
	祭りなど地域の伝統行事や節句に関する料理教室等	21回
神戸市婦人団体協議会	七夕・月見・正月など伝統行事に関する講習会等	14回
兵庫県いずみ会	朝ごはんステップアップキャンペーン(食育講話等)	38回
	おやこdeクッキングの開催	38回
兵庫県愛育連合会	若者向け結婚・子育て講座、親向けの子育て相談会等	17回
ひょうご子育てコミュニティ	県内の多様な子育て支援団体が連携し、共通課題への理解を深め、情報交換を図るためのフォーラム等	3回

ウ ひょうご子育て応援の店（子育て支援パスポート）の普及促進

子育てを社会全体で応援するため、県内の店舗等に「ひょうご子育て応援の店」への協賛を働きかけるとともに、子育て家庭にパスポートの利用を呼びかける。

<参加店舗数（R4.5末）>

物販店	飲食店	金融機関	学習塾	レジャー等	計
2,774	583	216	350	820	4,743

<利用対象> 18歳未満の子どもがいる子育て世帯

<利用者数（R4.5末）> 159,421人

<利用方法> 事前登録の上、パスポート画面を店頭で提示



【スマホパスポート画面】

エ 子育てほっとステーションの整備

地域の空き家等を活用し、親子がくつろぎ、仲間づくりのできる場所を設置する地域団体等に対し、初期段階に必要な施設整備費等を助成する。

対象事業	親子がくつろげる場や授乳スペースの設置、子育て支援講座の開催等
補助額	初年度：施設整備費（1,000千円上限） 3年間：子育て支援事業費（250千円上限） 賃借料（1,000千円上限）
補助実績	(R4) 1件（施設整備費、事業費、賃借料） (R3) 1件（施設整備費） 3件（賃借料）



【東灘子どもカフェ（神戸市）】

<地域別設置箇所数（R4.3末）>

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
15	8	6	3	1	4	6	4	5	4	56

オ まちの子育てひろばへの支援

保育所、幼稚園、子育てサークル等が開設しているまちの子育てひろばの運営に対し、助言や情報提供等を行う。



【ツインメリー（明石市）】

<実施箇所数（R4.5末）>

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
428	322	251	237	152	228	118	105	46	45	1,932

カ 地域と連携した子どもの見守りの推進

子育て支援団体と連携し、登下校時の見守りや声かけ、虐待・育児不安等のサインをキャッチして関係機関につなぐ取組を行う「子育て家庭応援推進員」を委嘱する。各県民局・県民センターは、情報交換の場の提供や研修により推進員の活動を支援する。

<推進員数（R4.3末）>

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
326	69	115	376	166	300	247	127	42	184	1,952

(4) 出会い支援事業 (131,827 千円)

独身男女の出会いの機会を増やし、成婚につなげるため、県内 10 か所及び東京で、ひょうご出会いサポートセンターを運営する。

ア 利用状況

< 会員の状況 (R4.3 末) >

区分	マッチング希望会員(はばタン会員)	イベント参加希望会員(あいサポ会員)
事業開始	平成 23 年 2 月	平成 11 年 10 月
登録費用等	5,000 円 / 年 (20 代 3,000 円)	なし (イベント参加時のみ実費負担)
会員数	3,306 人	4,335 人
支援内容	個別マッチング支援	イベント開催、協賛イベント紹介

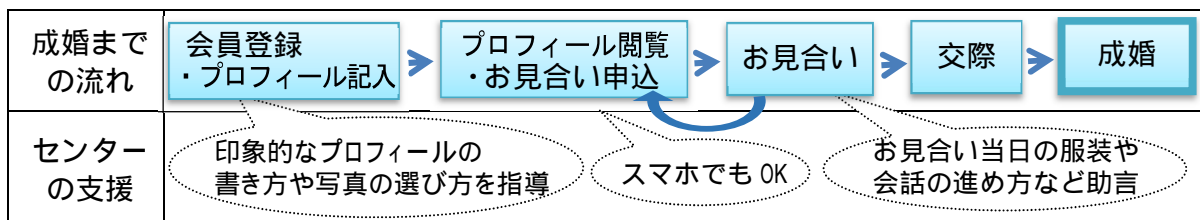
< 実績 > 累計成婚数 (R4.5 末): お見合い会員 : 1,006 組、イベント会員 947 組

区 分		H30	R 元	R2	R3	R3/H30 比 (コロナ前比較)
個別 お見合い	会員数(人)(各期 3 月末)	4,978	4,176	3,562	3,306	66.4%
	プロフィール閲覧数(回)	15,692	13,104	464,076	539,838	3440.2%
	お見合い(組)	3,355	2,731	2,180	3,312	98.7%
	成婚数(組)[a]	78	79	68	57	73.1%
出会い イベント	イベント回数(回)	216	169	85	107	49.5%
	参加者数(人)	6,289	4,782	1,943	2,099	33.4%
	成婚数(組)[b]	55	56	59	36	65.5%
成婚数(組)計 [a+b]		133	135	127	93	69.9%

R2.7 より、プロフィール閲覧、お見合い申込がスマホから実施可能

イ マッチング支援の流れ

スタッフがプロフィールの書き方等の助言や、お見合い等をサポート。令和 2 年度から、閲覧やお見合い申込をスマホから行えるようにし利便性の向上を図っている。



ウ 出会いイベントの実施・紹介

民間婚活事業者等と連携し、民間ノウハウを活かした出会いイベントを実施するとともに、協賛団体(企業・NPO・市町等)が行うイベントを紹介する。

< 回数 > 自主・連携イベント : 25 回、協賛イベント : 約 80 回

< 協賛団体 > 214 団体 (R4.3 末)

エ 結婚力アップセミナーの開催

話し方、身だしなみ、交際マナー等のセミナーをイベントと合わせて実施する。

< R 3 実績 > 30 回、534 人参加

3 青少年の健全育成の推進

公益財団法人兵庫県青少年本部や青少年団体等と連携し、「ひょうご青少年憲章」の理念のもと、体験活動やふるさとづくりを通じて青少年の健全育成を推進する。

(1) 青少年育成のための基盤づくり（23,075千円）

次代を担う青少年の健全育成を推進するため、地域や企業と連携し、青少年育成のための基盤づくりを図る。

ア 若人の賞の選奨

青少年の自己啓発と社会参加を促すため、優れた活動を行った青少年を表彰する。

<対 象> 青少年活動の振興、文化の振興、福祉の向上、環境の整備、国際交流活動に関して3年以上継続的に活動し、特に貢献した青少年



【若人の賞贈呈式】

<受賞人数>

年度	S60～R1	R2	R3
人数	174	5	5

【R3 主な受賞者の活動内容】

- ・県立こどもの館において、高校生等ボランティアとして「遊びのブース」を企画運営等
- ・在日外国人向けの救命士講習を英語で実施、講習用の多言語パンフレットを作成 等

イ 地域における青少年育成活動の推進

各県民局・県民センターに設置している青少年本部の地域活動コーディネーター等を中心に、地域の青少年育成団体等と連携し、青少年育成活動を展開する。

(ア) 青少年育成のためのセミナー・実践活動事業

地域の青少年育成団体の担い手等を対象に、青少年を取り巻く課題や対応等を学ぶためのセミナーを開催するとともに、団体間の連携強化を図る。

- <内 容> 全県共通セミナーの開催（年3回）
 地域連携事業の実施（県下10地域）
- ・地域団体の活動状況の集約・情報共有
 - ・地域の特色を生かした連携事業（イベント、セミナー等）の実施

(イ) ひょうご子ども・若者応援団による支援（青少年本部自主事業）

青少年の健全育成に意欲のある企業・団体等と地域の青少年育成活動をつなぎ、資源の提供や活動助成を実施する。

- <内 容> 企業・団体等の募集・登録
 提供された資源（物資・人材等）と活動団体ニーズとのマッチング
 寄付金を原資とした助成事業を実施

< R 3 実績 > 加盟企業：759社、活動資材等のマッチング：222件、助成：42件

ウ 兵庫・沖縄友愛交流事業

兵庫県と沖縄県は昭和 47 年に友愛提携を締結し、両県の青年が郷土の歴史や文化の交流を通して友愛の絆を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育むための交流を継続している。

令和 3 年 12 月には、兵庫県出身の元沖縄県知事 島田叡氏の生誕 120 年と友愛提携 50 周年を記念し、島田氏の功績や友愛の絆について次世代に伝える記念事業を開催し、両県の高校生が友愛宣言を行った。



【島田叡生誕 120 年記念・兵庫・沖縄友愛提携 50 周年記念事業】

(ア) 兵庫・沖縄青年リーダー交流事業

両県の青年が相互に訪問し、郷土の歴史学習や文化交流を通じて、郷土の発展に寄与するリーダーを養成する。

< 内 容 >

実施場所	沖縄県	兵庫県
実施予定	令和 4 年 11 月 3 日～ 6 日	令和 5 年 2 月 9 日～ 12 日
対 象	県内在住・在勤・在学の 18 歳～ 40 歳までの青年	
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・島守の塔・のじぎくの塔の参拝 ・平和祈念公園等の施設見学による平和・自然・文化・歴史学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と防災未来センター等防災学習 ・県立兔和野高原野外教育センターでの自然体験研修
参加者数	兵庫 10 人、沖縄 10 人 計 20 人	兵庫 10 人、沖縄 10 人 計 20 人
R3 実績	兵庫 5 人、沖縄 10 人 計 15 人	兵庫 7 人、沖縄 8 人 計 15 人 (オンラインで交流)



【沖縄キャンプ(海体験)】



【兔和野高原研修(雪体験)】



【R3 オンライン交流】

(イ) 兵庫・沖縄フレンドシップ事業

「兵庫・沖縄友愛戦後 70 年記念事業」(H27 実施)を契機として、平成 28 年度から沖縄県の児童生徒が来県して県内児童生徒と交流する。

< 実施予定日 > 令和 4 年 12 月 25 日

< 参加者数 > 70 人(兵庫 30 人、沖縄 40 人)

< 内 容 > ・沖縄県の児童との交歓会
 ・郷土芸能の紹介・体験活動

< R 3 実績 > R4.1.9 (オンライン開催)

27 人参加(兵庫 10 人、沖縄 17 人)



【R3 オンライン交流】

(2) 青少年の体験活動の推進 (212,078 千円)

生きる力を育む体験活動の機会を提供するとともに、青少年のふるさと意識を醸成し、地域で活躍する人材の育成につなげる。

ア 子どもの冒険ひろば

身近な地域の大人が見守る中、子どもたちが自由な発想でのびのびと遊ぶことができる「子どもの冒険ひろば」の一層の拡大を図る。

< 助 成 > 1 団体あたり30万円以内、36団体

< 地域別開設数 (R4.6末) >

神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
12	11	8	9	4	6	6	6	3	6	71

< R 3 実績 > 41 団体に助成、開設 70 箇所



【屋外遊びの様子(東播磨)】

イ ひょうごっ子・ふるさと塾

青少年のふるさと意識を醸成するため、“身近な地域での社会体験”や“豊かな自然に触れる多様な体験”を提供する青少年団体に助成する。

< 助 成 > 1 件あたり 20 万円以内、27 件 (R4.6 末)

< R 3 実績 > 36 件



【雪国生活体験(野外活動協会)】

ウ ふるさとづくり青年隊事業

若い世代の参画を進めたい地域団体や、地域づくりに取り組むNPO等による企画提案事業に参画する青年を公募し、地域内外の青年が協力して地域の活性化や課題解決に取り組むことで、地域づくりを担う人材の育成とふるさと意識の醸成を図る。

< 助成対象 > 地域団体・NPO等
(地域の青年が概ね5人以上参加)

< R 4 事業 > 1 団体あたり 40 万円以内、7 団体 (最長 2 年)
参加青年 67 人 (R4.6 末)

< R 3 実績 > 9 団体、参加青年 90 人

< R 3 事例 >

・つながるたつのプロジェクト(たつの市)

たつの市への移住者等が里山整備活動を通じて里山や地域名産品への知識を深め、地域の魅力を再発見し、SNS等で発信

・NPO法人環境ユーステック(稲美町)

いなみ野水辺の里公園を拠点として、青年が自然活動リーダーとなり、子どもたちに自然体験や環境学習を提供



【NPO法人環境ユーステック(稲美町)の活動の様子】

エ 体験施設の運営

(ア) 県立いえしま自然体験センターの運営

瀬戸内の豊かな自然の中で、体験・実践型の多様なプログラムを実施するとともに、子どもリーダー養成講座や指導者養成講座等を開設し、「自然体験活動・海の環境学習の拠点」として運営する。

<設置場所> 姫路市家島町西島

<指定管理者> 一般社団法人いえしま自然体験協会

<施設内容> 海中探検・養殖体験ゾーン

ボランティアリーダー棟、野外炊飯場等



【カヌー体験】

<利用者数>

年度	R1	R2	R3
利用者数	20,566人	10,781人	12,662人

<主な事業>

事業名	実施日	参加対象者	参加者数	R3実績
自然と遊ぼう	7/2～3	小学4～6年生	32人	31人
こどもヨット教室	7/16～18	小学4～中学生	20人(予定)	15人
無人島キャンプ	8/7～12	中学生	30人(予定)	27人
底引き網漁業体験&魚料理体験	11/12～13	一般・家族	50人(予定)	49人

(イ) 県立こどもの館の運営

遊びや創作活動を通じて、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、子育て支援機関や団体の活動の全県中核拠点として、多彩な事業を展開する。

<設置場所> 姫路市太市中

<指定管理者> 公益財団法人兵庫県青少年本部

<施設内容> 多目的ホール、実習室、円形劇場
児童図書室、工作館等



【県立こどもの館】

<利用者数>

年度	R1	R2	R3
利用者数	236,164人	40,784人	42,449人

R2.12～R3.8 長寿命化改修のため休館

<主な事業>

多彩な体験活動・交流の展開	子育て力を高める支援活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・こどもフェスティバル ・こどもの館劇団の養成、発表会 ・児童図書室や工作ひろばの企画運営 ・高校生ふれあい体験ひろば (高校生等がプログラムを企画運営) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの子育てひろば支援事業 (小規模保育施設等への指導員派遣) ・幼児教育研修会・児童厚生員等各種研修会 ・巡回劇場(紙芝居等を行う団体の派遣) ・県児童館連絡協議会、母親クラブ等事務局

(3) 課題を抱える青少年の支援（147,043 千円）

不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年の社会的自立を支援するため、関係機関との連携のもと、「兵庫ひきこもり相談支援センター」の運営等を行う。

ア 電話相談「ほっとらいん相談」

ひきこもり当事者や家族のために、青少年のための総合相談窓口を設置する。

<開設日時> 月・水・土曜日（週3日）

10:00～12:00、13:00～16:00

<連絡先> 078-977-7555



<相談実績>

【ほっとライン相談・地域ランチチラシ】

年度	件数	内容別内訳						相談者内訳	
		ひきこもり	不登校	非行	虐待	いじめ	主訴不明	本人	本人以外
R3	1,027	901	42	7	0	1	76	868 (84.5%)	159 (15.5%)
R2	1,089	964	51	8	0	4	62	942 (86.5%)	147 (13.5%)

イ 地域ランチの設置

ひきこもり等の支援を行うNPO団体等と協働で、県内5か所に地域ランチを設置し、電話・来所・訪問による相談支援や、研修、情報交換を通じた市町支援など、当事者にとって身近な地域でのひきこもり支援を進める。

<設置場所>

地域	受託団体	所在地	開設日	連絡先
阪神	(一社)いきがいさがし	西宮市	火・水・木	050-3749-1227
播磨	(認特)コムサロン 21	姫路市	月～土 (第2・4土曜休)	079-240-6299
但馬	(特非)カワリ豊岡・いのちのネットワーク	豊岡市	月～金	0796-26-1101
丹波	(特非)結	丹波篠山市	月・水・金	090-1900-6932
淡路	(認特)ソーシャル・デザインセンター-淡路	南あわじ市	月・水・金	0799-42-0399

<相談実績（R3年度）> 5 ブランチの合計

電話相談	来所相談	訪問相談	計	相談者内訳	
				本人	本人以外
1,240	1,718	357	3,315	2,295 (69.2%)	1,020 (30.8%)

ウ ひきこもりサポーターの育成（育成研修・フォローアップ研修）

地域におけるひきこもりの支援人材を育成するため、「ひきこもりサポーター育成研修」を実施する。

また、中級コースを修了した後、サポーター登録した者を対象に、当事者や家族との関わり方等を学ぶフォローアップ研修を各地域ランチで年1回開催する。

研修区分	対象者	研修内容	実施時期	参加人数(R3)
初級コース	ひきこもり支援に関心のある方	ひきこもりの基礎知識等	8/31～9/14 (オンライン配信)	88人
中級コース	初級コース修了者	ひきこもり支援の内容・方法等	9/30,10/14	48人

<登録サポーター> 154名

エ 「ひょうごユースケアネット推進会議」の運営

保健、医療、福祉、教育、雇用等に関係する32機関で構成し、社会生活を営む上で困難を有する青少年の支援に係る情報交換や連携による支援を実施する。

オ 県立神出学園・県立山の学校の運営

寮での共同生活や野外作業・ものづくり体験等を通して、ひきこもり・不登校等の課題を抱える青少年の社会的自立を支援する。

<施設概要>

(令和4年4月1日現在)

区分	神出学園	山の学校
設立	平成6年10月	平成5年1月
指定管理	H18.4.1～((公財)兵庫県青少年本部)	H26.4.1～((公財)兵庫県青少年本部)
設置場所	神戸市西区	宍粟市
入学時期	4月及び5～10月までの随時	4月及び5～10月までの随時
在籍者数	37人	4人
対象	県内在住の義務教育を修了した23歳未満の男女	県内在住の義務教育を修了した24歳未満の男子
内容	屋内活動(調理・手芸・音楽等) 農作業体験や動物とのふれあい 心理カウンセラーによる個別対応 学習指導を通じた進路選択支援	林業体験等を通じた人づくり 野外活動等による仲間づくり 職場体験等を通じた進路選択支援
在籍期間等	2年以内(最大1年延長可)全寮制	1年以内(最大1年延長可)全寮制
R3修了者	30人	5人
体験プログラム (R3実績)	1日交流体験プログラム 〔15～概ね40歳までの男女〕 (参加者数:138人)	「チャレンジ体験」 〔15～25歳程度の男女〕 (参加者数:8人)



【楽器レッスン】(神出学園)



【チェーンソー実技】(山の学校)

4 青少年を守り育てる活動の推進

青少年愛護条例のもと、地域、学校、事業者、保護者等が一体となって、青少年を守り育てる活動を展開するとともに、青少年のインターネット利用対策を推進する。

(1) 青少年愛護活動の展開（31,258 千円）

青少年愛護活動推進員による立入調査や業者指導等を通じ、青少年愛護条例の適正な運用を図り、青少年を取り巻く良好な環境づくりを推進する。

ア 青少年を取り巻く有害環境実態調査

青少年の健全な育成に悪影響を及ぼすおそれのある営業を対象に、県民局・県民センター等に設置した青少年愛護推進員が調査や業者指導を行い、市町や学校等に情報提供する。

< 取組状況 > 毎年 12 月末時点で把握集計

区分	図書類 販売店	ビデオ レンタル店	玩具類 取扱店	カラオケ ハウス	JKビジネスに 繋がるおそ れのある店	ネット カフェ	携帯電話 販売店	計
調査対象 店舗数	2,440	83	443	147	123	45	559	3,840
うち有害 環境該当	343	83	276	147	14	45	559	1,467

図書类等自動販売機、利用カード等自動販売機はいずれも 0 件

イ 青少年育成スクラム会議の開催

兵庫県青少年を守る店連絡協議会をはじめ事業者、青少年育成団体等 51 団体が参画し、青少年健全育成の課題・方策、非行・被害防止等について協議を行う。

< 全県会議 > 令和 4 年 7 月 1 日

< 地域会議 > 県下 10 地域で各 2 回以上、R3 実績：50 回

ウ 市町の取組支援

青少年の保護・非行防止を図るため、研修会等の開催を通じて、市町による青少年補導活動を支援する。

- < 内 容 >
- ・青少年補導センター研修会：所長対象（年 1 回）
 - ・青少年補導センター連絡会議：職員対象（年 1 回）
 - ・補導委員研修会：補導委員対象（ブロックごとに 1 回）

< 市町の体制（R4.4.1 現在） >

- ・青少年補導センター（29 センター）444

いじめや不登校、非行等に関する悩み相談、街頭補導活動や見守り、青少年を有害な情報や環境から守る取組等を実施。

- ・青少年補導委員（3,365 人）

市町長等が委嘱した民間有志のボランティアで、街頭補導活動を行う。

(2) 青少年のインターネット利用対策の推進（6,317千円）

過度なネット利用による健康面への影響や犯罪被害を防止するため、青少年が自ら考えるワークショップ等の開催、スマホ等利用のルールづくり支援、SNSを活用した啓発等、年齢層に合わせた幅広い取組を展開する。

ア 青少年自らが取り組むルールづくりへの支援

(ア) 全県ワークショップの開催

子どもたち自身が対応策を考え、発表し合う「ひょうごネットトラブル防止ワークショップ」を開催する。

<参加者数> 中高生約30名

<実施予定日> 令和4年10月9日、12月11日

<R3実績> 2回

(イ) スマホサミット in ひょうごの開催

家庭・学校・地域の関係者がスマホやインターネットとの上手なつきあい方について青少年とともに考え、学び、取り組みの輪を広げるサミットを開催する。

<実施予定日> 令和4年12月11日

<内容> 参加校の取組発表
パネルディスカッション等

<R3実績> 参加校8校、参加者数246名
(会場117名、オンライン129名)



【スマホサミット in ひょうご】

(ウ) 家庭でのルールづくり支援

生活時間やネットの安全な使い方等を家族で話し合うためのワークシートを作成・配付する。

<配付対象> 県内小学校1年生、中学校2・3年生の保護者

<部数> 16万部

<R3実績> 全小学生に配付(30万部)

イ 適切なインターネット利用に向けた啓発等の取組

(ア) (新) オフラインあそび塾の実施

インターネット利用が低年齢化していることから、あそびや工作などの体験活動を通してネットやゲームとのつきあい方を考えるワークショップを開催する。

<参加者数> 小学生以下の子ども(各回20名程度)

<実施場所> 県内10カ所(こどもの館等)

<内容> 子ども向け: あそびや工作等の体験活動、安全な使い方学習会等
保護者向け: 専門家による講義、保護者同士の意見交換等

(イ) (新) ターゲティング広告による啓発

SNSや検索サイトのターゲティング広告を活用し、インターネット上の危険に遭遇しやすいと思われる青少年を、テーマ別啓発ページへ誘導する。

(ウ) (新) 啓発動画の作成

SNSに起因する被害の実態や相談窓口等を紹介する啓発動画を作成し、ターゲティング広告から誘導するほか、ひょうごチャンネル等に掲載する。

(I) インターネット親子学習会の支援(青少年本部自主事業)

インターネット問題に関する県民理解の裾野を広げるため、保護者や地域団体による学習会の開催を支援する。

<助成額> 20千円/件を限度

<助成件数> 年間10件程度を予定

<R3実績> 18件

ウ 事業者や関係機関との連携による取組

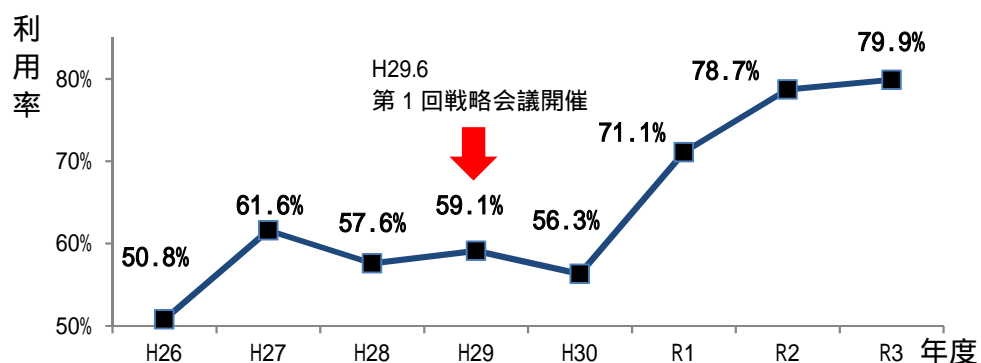
(ア) インターネット利用に関する調査の実施

県内小中高生(約2万名)とその保護者を対象に、ネットの利用状況や健康面への影響、トラブル経験の有無、依存傾向等を調査・分析する。

(イ) 携帯電話事業者との連携によるフィルタリング利用の推進

平成29年度から開催している「青少年のインターネット利用対策戦略会議」において、携帯電話契約時のフィルタリング契約の促進や、安全なネット利用に向けた新たな取組について事業者と意見交換する。

【県内の18歳未満の者が使用する携帯電話の回線契約時のフィルタリング契約率】



(ウ) ネットトラブル防止大作戦推進会議の実施

警察、教育委員会、PTA、青少年団体、マスコミ等で構成する推進会議において、安全安心なインターネット利用に向けた効果的な取組や、新たな課題への対応を検討し、各団体の活動に反映・推進する。

<回数> 年3回

エ スマホ・ネット依存対策の推進

(ア) 「人とつながるオフラインキャンプ 2022」の実施（青少年本部自主事業）

ネット利用を見直したい青少年（小学5年～18歳以下）を対象に、ネットから離れて自然とふれあい、日常生活を見直すきっかけとするキャンプを実施する。

また、ネット依存の実態や回避方法等を調査・研究し、県民に普及・啓発する。

<実施場所> 県立いえしま自然体験センター他

< R 4 予定 > 参加者数 20 名

（オリエンテーション（7月10日）
オフラインキャンプ（8月16日～20日・4泊5日）
フォローアップキャンプ（11月13日）

< R 3 実績 > 20 名参加（小学生 7 名、中学生 11 名、高校生 2 名）



【家族会】



【ワークショップ】



【キャンプファイヤー】

(イ) ネットトラブル対策体験活動への助成（青少年本部自主事業）

青少年団体等が実施するネット依存対策を組み込んだ2泊以上の自然体験活動事業を助成する。

< 助 成 > 1 事業あたり 150 千円、年間 3 件程度を予定